

キャラクター名
新鞘 刃銀(ニイザヤ ハガネ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ソラリス		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	学生
オプション			年齢	16前後	性別	男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	姉妹	経験	実験体	邂逅	慕情	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	5
感覚	2		0			2	(非装備時)	5
精神	1		0			1	戦闘移動	10
社会	4		0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《Nacht》高速振動ブレード	白兵	2r+5	2	12		マイナーアクションで使用可能
《Nacht》*	白兵	2r+5	2	18		5使用 攻撃力+6
実直な刃	白兵	4r+5		18		3+4 コスト5
実直な刃*	白兵	8r+5		18		↑100%時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
砂使い	P	N		
"血染めの剣姫"	P 傾倒	N 偏愛		
乙古木 勝	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ソラリス	2	2	M	-	-	-		
効果: C値-1(下限値7)								
アドレナリン	1	3	M/R	-	-	-		
効果: 【肉体】判定D+[Lv+1]個								
水晶の剣	3	4	M	至近	単体	自動		
効果: 常備化武器攻撃力+[Lv×2]								
砂の加護	3	3	O	視界	単体	自動		
効果: 判定D+[Lv+1]個								
砂塵霊	3	3	O	視界	単体	自動		
効果: 《砂の加護》使用時、攻撃力+[Lv×4]								
タブレット	3	2	O	至近	自身	自動		
効果: ソラリスEの射程を視界に変更								
多重生成	3	3	O	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《タブレット》組合せたEの対象[Lv+1]体に変更								
砂塵の城壁	1	1D10	O	視界	単体	自動	D0イス	
効果: 対象の被ダメージを0にし自分のHPを[10-Lv]失う。								
狂戦士	3	4	M	視界	単体	自動	80↑	
効果: 対象の次のメジャーダイス+Lv×2、C値-1								
天の業物	1							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								

"血染めの剣姫"と同セルにいたFHチルドレンの少年。
荒っぽい性格で態度も悪けりや口も悪い。それでも"血染めの剣姫"のことはセル内で、いや世界で一番慕っていると自負しており、彼女を護る剣になる事こそが自分の夢であると語る。

シンドロームはモルフェウスとソラリス。モルフェウスの武器を作る特性にまるで適性がなく、ソラリスの生成する成分を含んだ砂を操る能力に長けている。武器を作成できない特性から、初めはコンプレックスを抱いていたが、塞翁が馬と言うべきか血染めの剣姫から、いつか自分が彼女に認められれば剣を貰うという約束を取り付けることが出来た。その約束を糧に、少年は今振れる剣を振るい続けた。しかし、その約束が果たされることはなく、彼女の聖剣はUGNの一人に託されていると知る。少年はそれが受け入れられず、認められず、彼女の聖剣を自分のものとするため動き出す。

得意とする戦闘スタイルは射程を度外視した不可視の新撃。
"刃の軌道を追えば、相手は斬られたと錯覚し倒れる"ということにしているが、その実ハガネの不完全な武器作成能力より作り出された極微小な刃の片鱗と、ソラリスの伝達物質を組み合わせたもの。カラクリはどうあれ対応は困難。高速で振動する機械剣を用い、その振動によって砂塵の操作精度を高めている。